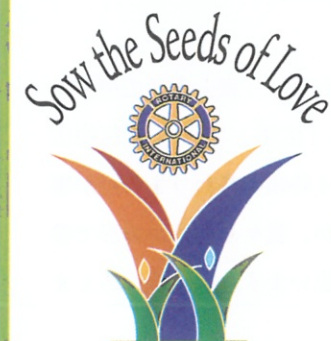




- 7月16日例会：卓話「社葬について」山中 正会員
 7月23日例会：卓話 大野新吉会員
 7月30日例会：ファゴット・クワルテット演奏会
 8月6日例会：「会員増強及び拡大月間」
 8月13日例会：休会（お盆）
 8月20日例会：時間延長12:30～14:30 於三条ロイヤルホテル
 杉山AG公式訪問「クラブ協議会」
 8月27日例会：卓話「在宅介護について」伊藤 清様



会長／梨木建夫
 幹事／五十嵐 茂
 SAA／佐藤弘志

三条北ロータリークラブ週報

慈愛の種を 播きましょう

例会日
 2002. 7. 9
 累計 No 761
 当年 No 2

国際ロータリー会長 ビチャイ・ラタクル 第2560地区ガバナー 佐野 孝

ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560sano/>

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114

事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内

☎35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行 事：「識字率向上月間」卓話「タイ山岳少数民族の識字に関する問題点」

タイ山岳少数民族支援の会代表 高橋素三子様

出 席：本日の出席 57名中 42名

先々週の出席率 57名中 52名 91.23%（前年同期89.83%）

【6月の出席状況：会員数57名 例会数4回 平均出席率82.6%（前年同月79.66%）】

先週のメイクアップ：7月3日 三条RCへ 高橋彰雄さん

4日 ゴルフ同好会遠征打合会出席

（敬称略）山口龍二、落合益夫、駒形 実、丸山 勝

大野新吉、樋口金占、坂本勝司、小林 満、佐藤義英

小林幹扶、今井克義

ゲ ス ト：タイ山岳少数民族支援の会代表 高橋素三子様

ビ ジ タ ー：三条RCより 斎藤弘文さん、熊倉昌平さん

会 長 挨拶：梨木 建夫



—昨日の日曜日午後1時半から三条商工会議所1階ホールで「ネットワークみどり緑結成準備会」が「公園づくり市民フォーラムパート2」を開き三条市民と燕市民30人ほどが参加して開かれました。私も案内が来ていましたので参加をさせて頂きました。この公園づくりは、始めに住民ありきで行政指導型ではなく、学校や業界団体、自治会などを通じて公園づくりのアイデア募集したもので準備会でワークショップを開き意見交換を行い具体的な素案作りを行ってきたもので大きくは「森案」と「広場案」の2つの案にまとめてありました。

燕と三条の市民が1つのテーブルに着き両市にまたがる公園作りを行うというケースは非常に珍しく、県や他の市町村からも注目されている。真の住民参加型で成功させたいという主旨のもとで市

民と行政が責任を持てる公園というのが基本とのコンセプトを示されました。「森」と「広場」の案の違いは簡潔にいうと、どちらも緑豊かな公園という点では同じだが「広場」案が「多目的広場」を設けているところが最大の違いということでした。フォーラムは4時頃に終わりましたが事務局では本日出た意見を参考に再度検討するという事で終わりましたが、我々も何らかの形で参加出来るのではないかと今後社会奉仕委員会で話し合ってもらいたいと思います。（これはあくまでも私的意見ですのであくまでも参考に）

幹事報告： 五十嵐幹事

- ・佐野ガバナーより 国際ロータリー会長主催アジア会議のご案内
期日 8/9～8/11
会場 ルネッサンススクアランプールホテル（マレーシア）
参加ご希望の方は7/15までにガバナー事務所までご連絡ください
- ・ライラ研修実行委員長より 第2560地区第2回「ライラ研修」について
申し込み〆切7月31日（水）
期日 9/20（金）～9/22（日）
会場 ウィズ巻 新潟県立青少年研修センター

委員会報告：

会報・広報・雑誌・資料委員会 今年度も会員の声を継続致しますので、ご協力お願いします。
各委員会の委員会報告のある場合は報告内容の原稿を週報担当まで提出してください

社会奉仕委員会 7/13午前6:30～8:00まで「五十嵐川クリーン」作戦が実施されます。多くの方の参加をお願いします。参加者はメイクアップ扱いとなります。

ニコニコボックス：	9日現在累計	54,000円
-----------	--------	---------

熊倉昌平君 （三条クラブ）北クラブに久しぶりにメイクアップさせて頂きました。

梨木建夫君 高橋素三子さん本日よりよろしくお願いいたします。

五十嵐茂君 ”

笹原壯玄君 小暑ですが、むし熱く体調を崩しやすいのでお互に気を付けましょう。

馬場直次郎君 はやく梅雨が上がって欲しいなァ…

駒形実君 工業会で賞を頂いたので還元したいと思います。

山崎勲君

佐藤弘志君 高橋様の卓話御期待して。

今井克義君 BOXに協力

青木省一君 BOX協力

丸山勝君 BOX協力

卓話： タイ山岳少数民族支援の会 代表 高橋素三子様



「タイ山岳少数民族の識字に関する問題点」

タイ北部の山岳地帯にはラフ族、リス族、アカ族、カレン族、ヤオ族、モン族など約600万人の山岳少数民族が集落を作り、自給自足の暮らしを営んでいました。彼等は遊牧の農耕・狩猟民族ですから国籍意識は希薄です。

ところがベトナム戦争以後に興った森林保護と麻薬撲滅運動の昂まりから、カン栽培・焼き畑農耕・森林伐採・移住遊牧の禁止で生活の基盤が全て奪われ、貨幣経済の枠組みの中に放り出されました。

現金収入を求めて都会に出て行った者は、タイ語も話せず国籍がないため労働許可書も得られず、低賃金で過酷な労働を強いられています。また近頃は覚醒剤が蔓延し、森を知り尽くしている山岳民は国境を越える運び屋として使われたりします。

貧困のため「子売り」をする親はあとを絶たず、エイズを恐れるパイヤーは山岳の幼い女の子を標的にします。女の子は“あきらめ”と“慣れさす事”を目的に早めに1日に12・3人の相手をさせられます。子供はつらくて逃げても、タイ語が話せないため逃げ切ることができません。

出口の見えない貧困の中で従来勤勉だった山岳民族は次々と労働を放棄して、荒廃した生活を送る例も多いようです。固有の優れた文化を持ちながらも彼等の生活は貧窮の度合いを増しているのです。

山岳の子供達にとって「学校に行く」という事はとても大事な事です。

第一に貧困、法を犯して捕られる親、希望もなく暴力を振るう親、子売り売春や強制労働をさせる親、麻薬に溺れて崩壊する家庭など教育を考える以前の段階にあります。

タイ人として生きるにはまずタイ語と騙されたり知らずに法を犯さぬよう、身を守る程度の法律知識は不可欠です。その為の第一が教育であると親の意識改革からせねばなりません。

第二に村が山々に点在するため、小学校は幼い子供の足で通える距離ではありません。低学年の子供のための寺子屋が必要です。中学校になると国籍のない子供は小学校の「卒業」があり得ませんので進学はできません。制服・教材と費用もかかり、更に遠いため山の家からは通えません。何らかの寮を探すのですが、入れる人数も少なく、遠い町の寮となる為、ますます費用が高み進学できるのはわずかです。子供達はすぐ町の生活に慣れ、山の文化を忘れがちです。

学校教育だけでは民族文化の伝承やアイデンティティの確立は望めません。村になるべく近くの中学校に通う必要があります。教育を受けた者が都市に流れるのではなく、生まれた地域や民族の発展に寄与するよう願っています。